

## 道の駅「明治の森・黒磯」のリニューアルオープンについて

## 1 趣旨

市が再整備を行っている道の駅「明治の森・黒磯」が次のとおりリニューアルオープンします。本市が取り組む「持続可能なまち那須塩原市」の構築に向け、「魅力ある商品づくり」、「新しい農業づくり」、「特色のある観光づくり」、そして「人と人との繋がりを創出する拠点」として、市の施策を具現化し、地域の活性化を目指して参ります。

## 2 リニューアルオープン概要

- 日時 : 令和6(2024)年4月26日(金) 8時30分～17時00分
- 場所 : 道の駅「明治の森・黒磯」(那須塩原市青木27番地)
- 主な施設 : 明治の森マーケット(直売所)、明治の森ダイニング(レストラン)、明治の森ミルクスタンド、明治の森コミュニティ(多目的スペース)、明治の森クラフト(工房)  
※一部は後日オープンとなります
- ホームページ : <https://meijinomori.jp/>
- その他 : リニューアルオープン記念としまして、お買い物いただいたお客様にオリジナルステッカーをプレゼントします。  
※数に限りがあります

なお、オープンに先立って次のとおりリニューアルオープン式典を開催しますので、ぜひ取材をお願いします。

- 日時 : 令和6(2024)年4月24日(水) 11時～
- 場所 : 道の駅「明治の森・黒磯」(那須塩原市青木27番地)
- 参加者 : 関係者100名程度及び青木小学校全児童
- 内容 : ①開式 ②鼓笛隊の演奏(青木小学校児童)  
③主催者挨拶(那須塩原市長) ④飲むヨーグルトで乾杯  
⑤祝辞 ⑥祝電披露 ⑦テープカット ⑧閉会  
※式典開始前にレセプションを開催  
(10時15分～「明治の森ダイニング」にて)  
※式典終了後、施設の内覧会を実施予定

## ▼施設外観



## ▼マーケットイメージ



### 3 新施設について

#### (1) 運営会社

行政、酪農、農業、金融及び商工分野の合計10団体が出資をした官民共同企業体の新会社です。

- 社名 : 株式会社明治の森市場（めいじのもりいちば）
- 代表取締役 : 山川 将弘（やまかわ まさひろ）
- 所在地 : 栃木県那須塩原市青木27
- 設立年月日 : 2023年9月1日
- 資本金 : 5,980万円

#### (2) 施設概要

運営会社である、株式会社明治の森市場より示されている内容は以下のとおりです。

#### 道の駅コンセプト：「農家が集まる道の駅」

道の駅をリニューアルするにあたり、多くの道の駅を視察する中で、「いいな」、と思える道の駅にはたくさんの生産者さんが集まっていました。そしてまた、生産者さんが多く集まる道の駅には、それを求めるお客様がたくさん訪れます。

生産者さんとのコミュニケーションを大切にし、生産者さんの想いを引き受け、農産物の価値を高めて販売を行って参ります。

道の駅「明治の森・黒磯」がある青木地区は那須塩原市の中でも特に酪農が盛んな場所です。生乳の価値を高めて販売するため、施設内に乳製品工房を備え、加工を行います。

多くの生産者さんに、「この道の駅に農産物を出荷したい」と思っただけのような場所にする事で、たくさんのお客さまが集まり、交流が生まれていく“市場”のような道の駅を目指し、運営を行って参ります。

#### キャッチコピー：「つくって暮らそう～黒磯の日常という贅沢を、ゆっくりと」

つくる＝人をつくる、場をつくる、関係をつくる、地域をつくる、暮らしをつくる

日常の暮らしの中ではなかなか気がつくことのできない、この土地の生活や環境の豊かさ、自然の恵み。

新しい道の駅「明治の森・黒磯」は、そんな暮らしの贅沢さともいえる場面を大切に切り取り、ゆったりと流れる時間の中で感じていただけるような設えや空間づくりを大切にしています。それは、これから新しくつくっていくモノ、コトだけではなく、これまでつくってきたモノ、コトがあるからこそ成り立つものであるということ意味をこのキャッチコピーに込めています。

#### ロゴマーク

デザインは那須塩原を象徴するモノの一つである「那須五峰」をモチーフにしています。完成された商品が並ぶだけの空間ではなく、那須塩原の雄大な自然から生まれる生活のリズムごと、この場所を訪れるお客さまに実感して欲しい。ずっしりと腰を降ろし、人々の暮らしの中に当たり前の風景として存在する那須連山のような、唯一無二の道の駅を目指します。

